**応募申請書**

**「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　　　年　　　月　　　日

一般財団法人　ヒートポンプ・蓄熱センター

理事長　　小宮山　宏 殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 共同申請者 | 改善に携わった方 | 会社名/個人名等 |
| 代表者名　（会社等で応募の場合）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 住所 |
| 改善に携わった方 | 会社名/個人名等 |
| 代表者名　（会社等で応募の場合）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 住所 |
| 設備オーナー | 会社名/個人名等 |
| 代表者名　（会社等で応募の場合）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 住所 |

注）申請者は設備オーナーとの共同申請とします。申請者が多い場合は、適宜欄を増やし

て下さい。

|  |
| --- |
| 建物名、または、物件名「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 」  改善事例名「 　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　 　　　　　 　 」  以下の事例の中から該当する番号に○印をつけてください※複数選択可  １． 設計性能（CO2排出量削減、省エネルギー、電気の需要の最適化〔ＤＲなど〕等）を発揮するために、運転管理・運用で創意工夫された事例  ２． 制御方法など運転管理・運用手法等の改善で効果があった事例  ３． 運転管理・運用に関して新規性、創造性等のある事例  ４． ヒートポンプ・蓄熱システムの改修・工夫により効果があった事例  ５． 未利用エネルギーを活用した圧縮式ヒートポンプシステムの改修・工夫により効果があった事例  ６． ピーク電力削減に効果があった運用事例  ７． ワークスタイルの変化や製造プロセスの変更による空調・給湯需要等の大幅な増減に対して、効率的に運転し、効果があった事例  ８． ヒートポンプ・蓄熱システムの運用にＩＴやＡＩ技術などを活用し、効果があった事例  ９． ヒートポンプ・蓄熱システムを非常災害時に対応（トイレなどの生活用水や火災時の消防用水など）した事例  １０．　その他「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」 |

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター受付

|  |
| --- |
| 事務局　　　受付年月日　　　　　令和　　　　年　　　月　　　日  　　　　　　　　　分類番号 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（この欄は申請者記入不要）

受賞対象者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 連絡担当者 ↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 改善に携  わった方 | 会社名 |  |  |
| 会社概要  （業種、事業内容等） |  |
| 担当者所属の部署 |  |
| 役職 |  |
| 担当者名 (フリガナ) |  |
| 所属部署の住所 | 〒 |
| ＴＥＬ |  |
| ＦＡＸ |  |
| E-mail |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 改善に携  わった方 | 会社名 |  |  |
| 会社概要  （業種、事業内容等） |  |
| 担当者所属の部署 |  |
| 役職 |  |
| 担当者名 (フリガナ) |  |
| 所属部署の住所 | 〒 |
| ＴＥＬ |  |
| ＦＡＸ |  |
| E-mail |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備  オーナー | 会社名 |  |  |
| 会社概要  （業種、事業内容等） |  |
| 担当者所属の部署 |  |
| 役職 |  |
| 担当者名 (フリガナ) |  |
| 所属部署の住所 | 〒 |
| ＴＥＬ |  |
| ＦＡＸ |  |
| E-mail |  |

注）申請書に関して、事務局より連絡させていただくことがあります。

ご連絡させていただく方、一名さまの連絡担当者欄に○印をご記入ください。

**（以下の各項目について記入して下さい。なお、本書式に書ききれない場合は自由に記入欄を増やしていただくか、別紙に記載願います。記載内容等でご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせ下さい。）**

１． 評価して貰いたいポイント（要点、400字程度を目安に）

（創意工夫した点、苦心した点、従来との相違点、改善を行った理由・原因などを時系列が

わかるように記入）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

２． 建物の概要、空調設備の概要、ヒートポンプ･蓄熱システムまたは未利用エネルギーを活用

した圧縮式ヒートポンプシステムの概要

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

〈設備／機器　仕様・系統図〉

|  |
| --- |
| ＜改善点の説明＞ |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

３． 改善の効果

以下の評価項目を参考に、改善効果に該当する項目（複数選択可）を選択し、出来る限り数値的表現にて記述する。

【評価項目の例】

|  |
| --- |
| １． エネルギー効率性（改善前後の対比）  ①　システムＣＯＰ、および、システムＣＯＰ改善率など  ②　入力エネルギー削減量および削減率（年間、あるいは、代表日）　など  ２． 経済性  ①　ランニングコスト（エネルギーコスト、運転管理コスト等）低減率　など  ３． 環境保全性（ＣＯ2、ＮＯｘ、ＳＯｘ排出削減量など）  ①　設備における１年間の排出削減量（㎏／年㎡）  ②　定格稼働日（ピーク期間の1日）の排出削減量（㎏／日RT）　など  ４． ヒートポンプ・蓄熱システムの運用によるピーク電力削減の効果が実績に基づき明確に提示できるもの、他事例への水平展開の容易なもの、など  ５． ヒートポンプ･蓄熱システムをディマンド･リスポンス、レジリエンスなどに活用し、得られた効果  ６． 災害時に熱利用や、蓄熱槽内の水を有効活用した効果  ７． 上記以外の評価項目 |

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

４． 設備オーナーの意見

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

５． その他

　①特許・実用新案・意匠に関する権利等の取得状況（国内、国外を問わず取得済みおよび

申請中のもの）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |

　②文献等の発表状況（文献名、発表年月日等）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |